

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成30年5月21日)

- スクールサポーターの活動状況（平成29年度中）について
..... 1
(生活安全部少年課)

警 察 本 部

スクールサポーターの活動状況（平成29年度中）について

平成30年5月21日
警察本部
(生活安全部少年課)

1 体制

東部地区4人、中部地区2人、西部地区4人の合計10人体制で運用している。

2 活動対象学校数

(単位：校)

	小学校	中学校	高校	特別支援校	計
東部：4人	54	23	14	5	96
中部：2人	21	11	7	1	40
西部：4人	51	27	13	4	95
計	126	61	34	10	231

3 活動状況

(単位：件)

	学校訪問	街頭補導等	非行教室等	校外パトロール等	会議等出席	相談活動
平成29年度	4,026	3,397	132	2,562	33	261
平成28年度	4,503	3,456	130	2,871	53	383

- 少年の非行防止・立ち直り支援等
学校における意見交換を始め、農業体験等を通じた立ち直り支援活動やゲームセンター、公園等のたまり場における街頭補導活動を実施した。
- 学校等における児童等の安全点検等
登下校時における見守り活動、声掛け活動及び学校、保護者等との合同パトロールによる通学路の警戒活動を実施した。
- 非行・犯罪被害防止教育の支援
非行防止・犯罪被害防止教室を開催したほか、教職員の不審者対応訓練を実施した。
- 地域安全情報の把握と提供
各学校周辺における不審者情報等を把握し、学校、保護者会等へ情報を提供した。



農業体験を通じた立ち直り支援活動



スクールサポーターによる非行等防止教室

4 主な活動好事例

- 学級崩壊手前の小学校5年生学級に対し、非行防止教室を開催したり、学校訪問時には必ず当該学級を確認して個別指導を行うなどの対応を継続して実施している。
- 小学校校長から、自宅からの金品持出しや同級生へのたかり行為を起こす児童に関する相談を受理し、児童及び保護者への個別指導を継続実施して改善を図った結果、校長以下教職員から感謝された。
- 中学校校長から、校内で断続的に発生していた盗難事案に関する相談を受理し、全校生徒に対する非行防止教室の開催等を行った結果、盗難事案の発生は途絶え、校長以下教職員から感謝された。

5 今後の活動

今年度のスクールサポーターは、全員が前年度からの継続任用であることから、より一層、学校訪問活動等による学校との連携の強化を図り、学校及び児童・生徒に対するきめ細かな支援を行う。